平成25年度事務事業評価シート	該当事業（評価対象外事業は基本情報のみ記載）		
	一般事務	公共建設事業	評価対象外事業

事務事業名	ポンプ場管理事業
予算科目	8 款　3 項　1 目
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 都市計画
所管課情報	担当課：　道路河川課　電話番号（内線）：　982-1111（593）
記入者情報	所属長：　上坂 博一　担当責任者：　一方井 浩介
事業の性格	法定事務
実施期間	【開始年度】　平成　18 年度　【開始年度】設定なし
事業の対象	市民
根拠法令等	
事業の目的	市内各所にある4つのポンプ場について適正な維持管理を行い豪雨・災害等を未然に防ぎ地域の防災・安全の確保を図る。
事業の内容	市内各所にある4つのポンプ場施設の維持修繕、改修及び施設の管理委託費
改善策の具体的取り組み（当初）	ポンプ場における機械設備の管理は計画的にオーバーホール、修繕を実施することで効率的に進められている。現在進められている施設の長寿命化計画の内容を検討しつつ機械以外の設備(建築物等の老朽化対策)についても今後の対応策を細部にわたって策定してくことが必要である。
改善策の具体的取り組み	策定中である長寿命化計画について施設全体を視野に入れた計画を策定する。

事業費及び財源内訳

項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	37,519	32,156	5,002	30,961
	人件費	1,599	1,627	813	1,627
	合計	0	33,783	5,815	32,588
人件費内訳	人工数	0.20	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	7,999	8,136	8,136	8,136
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,599	1,627	813	1,627
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	39,118	33,783	5,815	32,588

事業活動の実績（活動指標）

項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
ポンプ等施設修繕件数	件	5	5	2	3
ポンプ等改修工事件数	件	6	2	2	2

向こう5年間の直接事業費の推移

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	125,000

成果指標				
成果指標	浸水被害戸数			
指標設定の考え方	浸水等の被害を未然に防ぐことで適正な施設管理が行われている。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目　標	0戸	0戸	0	0
実　績	0戸	0戸	0	0

自己評価				
自己評価（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	排水ポンプの修繕は長期的な修繕スケジュールに基づいて実施されている状況である。新たに計画されている施設の長寿命化計画にあわせその他のポンプ場施設についても老朽化が進んでいる施設については建屋等、機器以外についても修繕・改修計画を策定し効率的かつ安全な施設維持を図っていく必要がある。			

一次評価				
一次評価（所属長）	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	ポンプ場の管理については、業者委託や職員の配置のより日常点検を行い、必要に応じて修繕等を実施し梅雨前線豪雨や台風の大雨時に備えた管理を行っている。 今後は施設の老朽化対策に向けた取り組みが必要であり、長寿命化修繕計画調査業務の成果に基づき、順次、整備を行う予定であり、引き続き安心できる施設管理をすることが必携である。 また森浜、安広、梢川、大谷ポンプ場以外に水中ポンプを設置している道路下アンダーがあり、大雨時に冠水して車事故が発生しないよう、巡回点検が必要である。			

二次評価	
二次評価（所属部長）	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申	
外部評価 （行政評価委員会）	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	